

		4・5月	6・7・8月	9月・10・11月	12・1月	2・3月	10の姿
3生 つきの 柱力	大切にしたい 活動 共通キーワード	・当番活動 ・ルールのある遊び ・夏野菜の世話 ・春の自然遊び ・散歩・体操・園庭	感触遊び 水遊び 昆虫の飼育 夏野菜等の収穫	運動会 冬野菜の世話や観察 クッキング 散歩・戸外遊び 秋の自然遊び	クリスマス会 伝承あそび 冬の自然遊び	げきごっこあそび 小学生ごっこ	
		【チェリッシュ】 安心して自己発揮できる 環境づくり	年長への期待感を大切に 元気に過ごすことを大切に ・戸外遊びを楽しむ	自分の感覚を大切に 満足感を大切に ・思い切り体を動かしダイナミックに 遊ぶ ・必要な習慣、態度を、身につける	自分の体を大切に 友だちの思いや 考えを大切に 目標を持って友達とや ってみることで自信をつ け喜びを感じる。	自分なりの表現を大切に 自信と誇りをもって行動する “自分ならできる”	自分の良さを大切に 大きくなった自分を感じる 自信をもって表現する
知	【チャレンジ】 主体的な生活ができる 環境づくり	自分の生活をよくする ・友だちと一緒に生活や遊びを展開して いく。	自分の好きなことを繰り返し試す ・自分なりの目的をもって取り組む ・知っている数や形を言葉や図で表 現し、伝え合う。	自分の目標に向かって ・少し苦手なことや難しいことにもチャレンジする。 ・みんなの中で自分の力を十分に発揮しようと する。	自信をもって活動にチャレンジ 苦手なことにもチャレンジ 体験した活動をもとに自分たち でしたいこと考えたことに取り組 み進めていく。	なりたい自分にチャレンジ 成長に自信をもつ 最後の参観等で達成感を 味わう。	自立心 数量・図形・文 字・標識に関 する感覚
		【コミュニケーション】 友だち関係を広げる活 動づくり	自分のことを考える 困ったことを伝える ・自分の思いや体験を言葉にする。 ・言葉で伝えあって相手の思いを知る	相手のことを聞く 相手の話を聴く ・思いを出し合い、イメージを共有し ながら遊びを企画する (相談 共有 思い)	思うことを伝える 対話を重ねる 友達の意見に関心を持って聞き、自分の思い も伝えられるようになる	いろいろな人と関わろうとする 友達と自分の考えの違いに気づ き、折り合いをつける。 ・友達と一緒に課題を解決す る。 ・お互い認め合うことで自信に つながる。	伝え合う喜びを感じる 気持ちを合わせる心地よさを感じ る
徳・人 間性	【コラボレーション】 クラスでの居場所づく り	友達とたのしく遊ぶために ・ルールについて話し合う、教え合う	心地よい生活のために 問題解決のために	励まし認め合いながら 励まし合いながら 友達と一緒に頑張った満足感や楽しさを味わ う。	共通の目的に向かって 自分の目標に向かって根気よ く取り組む	仲間とよりよいものを創り出そう とする 仲間と一緒に目標に向かって 取り組む	協同性 道徳性・規範意 識の芽生え
		【クリエイティビティ】 【クリティカルシンキング】 創造的な思考を促す環 境づくり	好奇心や探求心を持って関わろう 周りの環境に関わろう ・興味、関心を持ったことを調べたり 試したりしながら自分なりの発見を 楽しみ、知識を深める。	身近なものの特性に気づき遊びこも う ・様々な道具や用具に触れ自分なり に楽しむ、表現する。	目的に向かって考えを出し合おう。 目的に向かって出し合おう イメージやアイデアを実現させよう 目的に向かって友達と考えを出し合い、工夫して いく。	冬ならではの自然原理に気づ き、関心をもつ。 ・行事に参加し楽しみ、その意味 を理解する。	自分たちで解決していこう 困ったことは自分で周りの人 に言える。 見通しをもって自分の身の回 りのことは自分です。
大切にしたいこと	先生の配慮 環境構成	・子どもの思い、興味関心を知る。 ・子どもの疑問を先取りしない。 ・子どもが思いを出せるようにする。 (認める) ・自分の居場所があることを感じら れるようにする。 ・子どもの好きな遊びを知る	・一人一人の個性特性を理解し、 子どもの必要感に応じて関わ る。 ・自分以外の周りの様子に気づけ る機会を作る。 ・遊びを深める、話し合う、交代で 使う等できるようにする。 ・友達との関わりを見る。 ・遊びを通して自分の体験を通し て学んでいく、自然と身につい ていくことを認識して進める。	・子ども一人一人の心の揺れや葛藤を大切に し、結果ではなく過程を大切にする。 ・友達の姿に気づいて周りに伝えたり認めたり する。	・自信をもって取り組めるよう見守 りながら必要に応じて声をかける。 ・保育者が整えるだけでなく子ども 達と相談して環境構成を決める。	一人一人の姿を大切に友達の 姿に気づけるようにする。	
		・子どもたちが思いを出しやすいよ うに小さなグループで話し合い、振 り返る場を構成する。 ・個々の遊びで十分できるように 教材や材料をそろえる。 ・たっぷり遊べる時間を保証する	・一つ一つの活動に十分な時間を とる。 ・必要な道具等を子どもが取り出 しやすいように置いておく。 ・命について考えるよう、動植物 と触れ合う機会を作る。	・気になったものをすぐに調べられるように する。 ・子ども達が自ら生活を進めていけるよ うに、手の届く範囲にものを配置する。 ・子ども同士が互いの姿に気づき認め合える 場を作る。	・友達と一緒に考えたことが実現 できる場を整える。 ・作った物で遊び、遊びながら作 り直していける材料や場所や 時間を確保する。 ・主体性、自主性をもって行動し ていると自覚できるようあえて なにもしない、という場面もつく る。	・予測される姿を考えてお く。 ・今まで経験してきた遊びや を十分楽しめるようにする。	